

来週の『売り物』、記事はこれ



2015年6月19日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「父」と慕われた僧侶の軌跡

未完の中国残留孤児問題

21日(日)



1931年の満州事変から45年の終戦まで、国策として旧満州（現中国東北部）に入植した満蒙開拓団は約27万人。敗戦で多くの人が置き去りにされて異国の土となりました。生き延びても、親と離ればなれになった子供たちは中国人の養子として育てられ、後の中国残留日本人孤児となります。



戦後長らく、日本政府は帰国しない入植者を「死亡扱い」とする棄民政策をとりました。世論に押される形で、肉親捜しの訪日調査を始めたのは終戦から実に35年後のことでした。その陰には、「残留孤児の父」と慕われた故・山本慈昭住職の活動があります。彼の足跡を追いながら、今も日本語が話せずに介護の網からこぼれ落ち、老いて引きこもる残留孤児1世の実状をレポートします。

日曜朝は『S』で始まるー。ストーリーにご期待下さい。

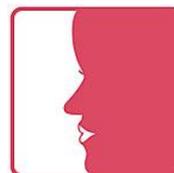
佐伯一麦さんと対談

朝刊文化面 27日(土)

現代社会で見失われがちな理想について、批評家の若松英輔さんが各界の識者で行う対談「理想のかたち」のゲストは、仙台市在住の作家、佐伯一麦さんです。今、理想と一体であるはずの表現、言葉のあり方も問われています。文学の現状と本質的課題は何かを語り合います。東日本大震災と文学者の役割についても、佐伯さんの実体験を交えつつ論じます。



朝刊2面の連載「戦後70年」シリーズ。第11弾「『償い』という問い アジア女性基金を考え直す」が始まります。日本が直面した最も困難な歴史問題とも言える「慰安婦」。政府と国民は戦後50年の1995年にアジア女性基金をつくって対応しましたが、今なお被害者らの納得を得られていません。岸俊光論説委員が、内外の関係者を訪ね歩



日本は大丈夫なのか？

韓国で感染拡大が続くMERS

夕刊2面特集ワイド 23日(火)

いて基金を検

証します。

お隣の韓国で中東呼吸器症候群（MERS）コロナウイルスの感染が拡大を続けています。18日現在、165人の感染が確認され、うち23人が亡くなりました。自宅などで隔離されている人も6729人に達します。韓国と日本は人の往来も多く、いつ日本で感染者が出てもおかしくありません。なぜこんなに感染が拡大してしまったのでしょうか、日本の備えは十分なのでしょうか、我々はどんなことに注意すればいいのでしょうか。専門家に取材しました。





「くらしナビ」面の人気コーナー「女の気持ち」の筆者を訪ね、「その後」を聞くコーナー。今回は、愛媛県四国中央市の山内和子さんです。

商店街主催の歳末セール抽選会で、2等の電動自転車が当たった山内さん。買ったばかりのもう1台とともに夫の一豊さんとサイクリングに、と思っていた山内さんですが、ちょっと事情が変わったようです。夫婦の歩んだ道や近所の人たちとの交流を、大阪本社編集局の相原洋編集委員がつづります。

わいせつ被害から子どもを守る

くらしナビ面 22日(月)と29日(月)の2回

「子どもをわいせつ被害から守りたい。怖い目に遭わせたくない」。そう考える保護者は多いです。しかし、何が危険で、どう身を守ればいいのか教えるのは難しいものです。1カ月もすれば夏休みに入り、子どもだけで出歩く機会も増えてきます。親子で確認しておきたい防犯のポイントや、自分の子が被害に遭ったかもしれない時の対応策を2回に分けて紹介します。



巣立ちのために～施設退所者への支援

くらしナビ面 24日(水)から



児童養護施設など社会的養護施設では18歳(自立支援ホームは20歳)で一律に退所を求められますが、職探しや住居の確保でつまづく若者は少なくありません。自殺や犯罪などに転落するケースもあります。一方、施設を退所する子供・若者に対する自治体、NPOなどによる施設退所者をめぐる現状を3回に分けて報告します。

男性の浴衣の着こなし方

くらしナビ面 23日(火)

最近男性にも人気が広がっている浴衣。元々は湯上がり時や寝間着に使われていたカジュアルなものです。コーディネート次第でドレスアップもできます。「食と住では和と洋の折衷が進んでいます。衣だけ別々なのはナンセンス。時代に合わせた柔軟な着方があっていい」。こう話す着物専門店「やまと」の矢島孝敏会長らに大人の男性が浴衣を格好良く着こなす方法を聞きました。



サッカー女子W杯 なでしこ決勝トーナメント1回戦

日本時間 24日午前11時キックオフ



カナダで開かれているサッカーの女子ワールドカップ(W杯)で、日本(なでしこジャパン)は日本時間24日午前11時から、決勝トーナメント1回戦でオランダと対戦します。前回大会に次ぐ連覇を目指す日本は、順調に3連勝して1次リーグを突破しました。国際サッカー連盟(FIFA)ランキングは日本が4位、オランダが12位。オランダはW杯初出場ながら、他の欧州のチームと同様にスピードとテクニックがあり、大柄な選手もいます。佐々木則夫監督は「欧米の新鋭として質の高いチーム」と警戒しています。日本は勝ち進むと、準々決勝は28日、準決勝は7月2日、決勝は7月6日(いずれも日本時間)に行われます。なでしこの活躍も毎日新聞でお楽しみください。